

JR花巻駅橋上駅舎・東西自由通路の デザイン案について

花巻市 建設部 都市機能整備室

花巻駅橋上駅・東西自由通路のデザインコンセプトの検討

○駅舎・東西自由通路のデザインコンセプトの検討について

- ・花巻らしいデザインコンセプトを、市民の意見を伺いながら作るため、「デザインコンセプト検討ワークショップ」を開催
- ・専門的な知見に基づきワークショップで出されたデザインコンセプトに対する意見聴取などを行う「有識者会議」を設置

【ワークショップの概要】

○ワークショップでの検討事項

駅舎・自由通路の外観（イメージや色、材質、質感等）や内装・化粧、景観との調和など

○開催回数及び期間

第1回から第3回（令和5年1月29日、2月19日、3月19日）・・・デザインコンセプトの検討

第4回（令和5年12月9日）・・・JRから提示されたデザイン案の意見聴取

○参加者構成

27名（関係団体から推薦された方、公募により応募のあった方、市内高校生）

【有識者会議概要】

○委員構成

学識経験者、国、県、交通事業者、建築士会、芸術協会、商工会議所、障がい者団体

○会議開催日

令和5年3月28日・・・ワークショップのデザインコンセプトの意見聴取

令和6年1月頃予定・・・JRから提示されたデザイン案の意見聴取

①「残す」・「変わり続ける」・「遊ぶ」花巻

- ・花巻のよさ（宮沢賢治・豊かな自然・名産特産品）を散りばめ、後世に残す
- ・地域のひとの交流の場・ギャラリーなど市民参加のスペース・勉強ができる休憩スペース
- ・光の演出などの遊び心・スタンドグラスで光の表現・間接照明
- ・宮沢賢治の世界観・銀河鉄道その他の物語を表現するものを散りばめる
- ・外観に賢治のシルエットをいれる
- ・緑化（花巻市や賢治をモチーフにした花や木を植える・内外に花や木をとりいれたい）
- ・花巻を印象づけるSNS映えスポット
- ・スタイリッシュな空間（外装はシンプル）
- ・木のぬくもりを感じる（木のタイル貼りなど）
- ・床、足元にも演出
- ・景色が見える窓・こどもでも見える高さ

②「this is 花巻」

- ・花巻の要素がふんだん「花巻（大迫・石鳥谷・東和）」の地域展示場 = 「花巻の缶詰」
- ・季節感の演出・照明演出（イルミネーション・季節感の演出）
- ・交流の場となる施設・勉強スペース
- ・シンプルな内外装（白黒茶）
- ・各地の名産特産をかたちで表現（石鳥谷の稲の壁とか）
- ・レトロなしつらえの内装・暖色の照明で落ち着き
- ・緑化（花を植える・花巻の花を使った壁）
- ・腰壁に木の活用
- ・賢治のシルエットを配置して街なかと統一感
- ・スタンドグラスの窓
- ・写真映えスポット

③「Feel 花巻」～花巻まるごと詰め込んだ感じる花巻盛りだくさん～

- ・花、鹿踊りをモチーフに
- ・木材を多用し温かみのある
- ・自然光の採光で明るく温かみのある駅
- ・外観はシンプル・凹凸を少なく・白・プロジェクションマッピング
- ・スタンドグラスの窓（花、鹿踊りをモチーフ）
- ・既存の時計と機能的な時計
- ・景色や電車を楽しむ大きな窓・天窗・ガラス床
- ・白黒ブロックレンガ
- ・ベンチ、待合室、（勉強できる？）テーブル・知らない人と繋がる場

④あの頃の自分にもう一度出会える花巻

- ・宮沢賢治の作品を抽象的に表現
- ・通路の天井に夜空、天の川
- ・作品の文章をそのまま表現
- ・レトロ感（大正時代・花巻市街の雰囲気）をモチーフに
- ・緑化（花壇）
- ・花を通した地域との交流・掲示板を通した交流・観光客と市民の接点
- ・勉強スペース
- ・歴代の時計
- ・スタンドグラス・朝日と夕日が見える窓

有識者意見

- ・賢治の時代の駅はレンガとドームのスレート瓦
- ・賢治の作品はヨーロッパのイメージ
- ・大正ロマン、スタンドグラス、童話村のガラスのイルミネーション
- ・童話村のゲートはアールヌーボー
- ・吹抜、天井の高さを活かさないか
- ・既存の切妻のイメージを踏襲した案が欲しい
- ・賢治のイメージが色濃いが他の案も欲しい

◆共通項

・花巻各地域の様々な魅力を表現

- ・宮沢賢治
- ・豊かな自然
- ・各地の名産特産
- ・鹿踊り

・スタンドグラス

- ・景色（や電車）を楽しむ様々な窓

・シンプル

- ・スタイリッシュな空間
- ・白黒茶
- ・凹凸を少なく・白

・光の演出

- ・暖色の照明で落ち着き
- ・自然光の採光で温かみ
- ・照明による季節感の演出
- ・プロジェクションマッピング

・木のぬくもり・木材の活用

- ・ポイントで使用、木タイルばりなど
- ・腰壁に木を活用

・勉強スペース

・交流の場

- ・地域のひとの交流の場
- ・知らない人と繋がる場
- ・観光客と市民の接点

・緑化（木・花）

- ・賢治をモチーフにした花や木を植える
- ・内外に花や木をとりいれたい
- ・花壇・花巻の花を使った壁
- ・花を通した交流

◆頻出項

・宮沢賢治（の世界観）

- ・賢治のシルエット
- ・銀河鉄道やその他の作品を表現するものを散りばめる
- ・通路の天井に夜空、天の川
- ・作品の文章をそのまま表現

・レトロ

- ・大正時代・花巻市街の雰囲気

・時計

- ・歴代の時計
- ・機能的な時計

・写真映えスポット



・宮沢賢治の作品 ※1



・鹿踊り ※2



・夜空、天の川イメージ ex.SL銀河 ※2



・光の演出 ex.童話村イルミネーション ※2



・木のぬくもり ex.花巻おもちゃ美術館 ※2

◆花巻市

・花巻市の将来都市像

「市民パワーをひとつに歴史と文化で拓く笑顔の花咲く温（あつた）か都市（まち）イーハトーブはなまき」（市HP）

・「賢治さん」の香りあふれるまちを目指して（市HP）

賢治のまちづくりのコンセプト（市HP）

- ・「賢治精神が息づく人の和のまち」
- ・「自然がたいせつにされているまち」
- ・「賢治の文化を引き継ぎ未来を創造するまち」

・市の花「ハヤチネウクスユキソウ」



・ハヤチネウクスユキソウ ※1 ・コブシ ※1

・市の鳥「フクロウ」（花巻温泉公式キャラ「フクロー」）

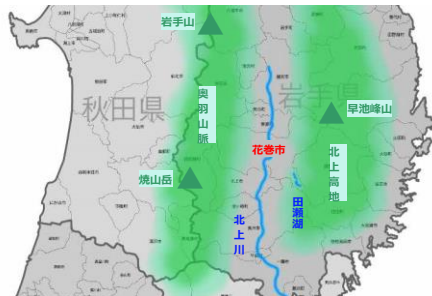


・フラワーロールちゃん ※1 ・フクロウ ※1

◆地理

・岩手県のほぼ中央に位置する

東に北上高地、西に奥羽山脈に囲まれ、中央を南北に北上川が流れる自然豊かな盆地



◆自然

・肥沃な北上盆地

・水田とイグネ（屋敷林）円万寺観音山（からの眺望）

・早池峰山（北上高地の最高峰）高山植物の宝庫

・胡四王山（賢治も好んだ）

・北上川・イギリス海岸

・葛丸川溪流、釜淵の滝

・田瀬湖（人造湖）



・早池峰山 ※2



・北上盆地の水田と点在するイグネ ※1



・葛丸川溪流 ※2



・釜淵の滝 ※2



・イギリス海岸 ※2



・田瀬湖 ※2

◆伝統・工芸・文化

・長い歴史を持つ花巻は多くの伝統、文化が育ち、現代にも受け継がれている

・宮沢賢治の作品集

・花巻温泉郷（長い歴史を持つ東北有数の温泉地）

・鹿踊り（花巻郷土芸能）

・早池峰神楽（ユネスコ無形文化遺産）

・花巻こけし・花巻傘・陶芸・忍び駒・成島和紙・ホームスパン

・南部杜氏 酒蔵 杉玉・エーデルワイン …他



・花巻温泉郷 ※2



・鹿踊り ※2



・花巻傘 ※2



・陶芸 ※2 (台焼・瀬山焼など)



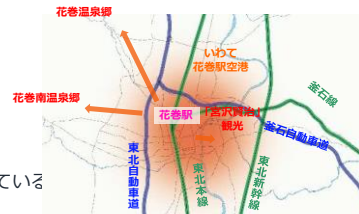
・忍び駒 ※2

◆交通

・古くから陸運、水運の交通の要衝

・現在も、県内唯一のいわて花巻空港、東北新幹線からのアクセスもよく、東北自動車道と釜石自動車道、東北本線と釜石線などが交わる交通の結節点（クロスポイント）

・花巻温泉郷、宮沢賢治観光の玄関口



◆所縁のある人物

・宮沢賢治（地元では親しみ尊敬をこめて「賢治さん」とよばれている）

・高村光太郎（彫刻家・詩人 宮沢家へ疎開した）

・萬鉄五郎（洋画家）

・新渡戸稲造

・大谷翔平・菊池雄星（花巻東高） …他

・松任谷由実の「緑の町に舞い降りて」

（花巻空港のイメージソングとなっている）「♪銀河の童話を読みかけて…」



◆学生が多く行き交うまち

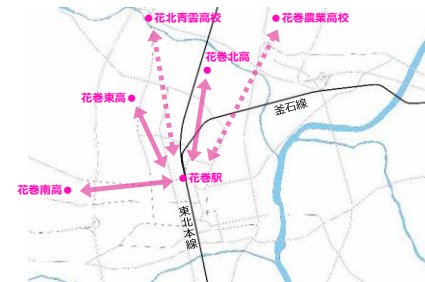
・最寄りに5つの高校があるほか、花巻近郊の学校へ通学する学生も多い

・朝夕は多くの学生でにぎわう

・駅が学生のコミュニティの場となっている

・大谷翔平・菊池雄星のようにここから世界に

巣立ちばばたく若者も輩出



デザインコンセプト

思いをつなぐイーハトーブはなまき



「過去と現在にふれる駅」

沢山の出会い・思い出・旅立ちの場となってきた駅について、花巻の歴史や文化を感じさせるレトロな雰囲気とした。

外観：重厚感あるシンプルな形態に、大正時代を思わせるレンガ調の壁によりレトロな雰囲気を演出した。

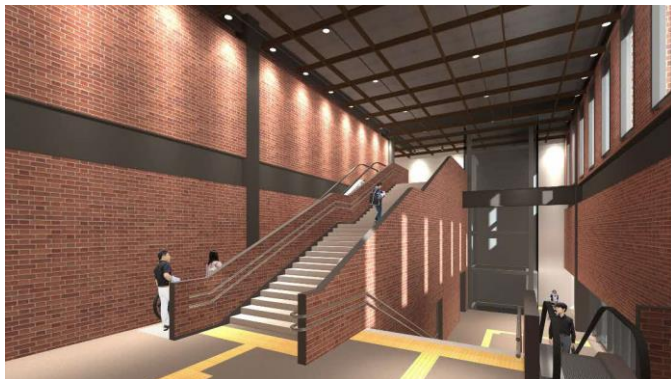
内観：レンガ調の壁と暖色系の内装により温かみのある空間を演出した。自由通路には鹿踊りの帯を思わせるスタンドグラスを配置した。

◆デザインキーワード

- ・レトロ大正時代・花巻市街の雰囲気
- ・シンプルな内外装（白茶）
- ・レトロなしつらえの内装
- ・落ち着いた暖色の照明
- ・スタンドグラス
- ・景色（や電車）を楽しむ様々な窓
- ・木材利用



外観



内観（エントランス）



内観（自由通路・エントランス付近）



内観（自由通路・改札付近）



「人とひとを結ぶ駅」

外観は花巻を代表する宮沢賢治が交流の拠点としていた私塾「羅須地人協会」をモチーフに、内観はナチュラルにまとめ住民の方々に愛されるようなデザインとした。

外観：羅須地人協会の屋根の傾斜の要素を取り入れつつ、花巻の風景に馴染むよう大地と空をつなぐ一つの勾配屋根をメインとした。

内観：本棚や木壁を中心とし、木のぬくもり溢れる自然な空間とした。またハイサイドライトと柔らかい膜天井により、自然光を取り入れる計画とした。

◆デザインキーワード

- ・宮沢賢治の要素
- ・シンプルな内外装（黒）
- ・木のぬくもり、木材の利用
- ・落ち着いたある暖色の照明
- ・温かみのある自然光の採光
- ・景色（や電車）を楽しむ様々な窓



外観



内観（エントランス）



内観（自由通路・エントランス付近）



内観（自由通路・改札付近）



外観

「未来へと歩む駅」

学生が多く利用する駅ということやメジャーリーグで活躍する選手などを輩出した土地ということから、若者が未来へ歩いていくことをイメージして近代的でスタイリッシュなデザインとした。建物全体に連なる窓が、思いをつないでいくことを表現している。

外観：駅広場のモニュメント「風の鳴る林」との調和を考慮しスタイリッシュにまとめた。窓から映る人々の影が宮沢賢治のシルエットを彷彿させる。

内観：内装仕上げは木材を取りつつシンプルにまとめた。連続する窓により自然光を取り入れるとともに、様々な景色を楽しめるように計画した。

◆デザインキーワード

- ・スタイリッシュな空間
- ・シンプルな内外装
- ・宮沢賢治のシルエット
- ・木のぬくもり、木材の利用
- ・温かみのある自然光の採光
- ・景色（や電車）を楽しむ様々な窓



※2



内観（エントランス）



内観（自由通路・エントランス付近）



内観（自由通路・改札付近）

【JR花巻駅東西自由通路・橋上駅舎のデザイン案選定プロセス】

デザイン案の提示（JR東日本から） 11月末

市民参画手続き
(市民参画・協働推進委員会承認)

ワークショップ(デザイン案レビュー会)

参加メンバーへの意見聴取
12月9日(土) 13:30 まなび学園

地域意見交換会

12月21日(木) 18:30	なはんプラザ
12月24日(日) 10:00	文化会館
1月20日(土) 10:00	石鳥谷生涯学習会館
1月20日(土) 14:00	大迫交流活性化センター
1月21日(日) 10:00	東和コミュニティセンター

有識者会議での意見聴取

令和6年1月23日(火) 14:00 市役所

上記の意見や整備費などを踏まえデザインを決定